

清元院だより

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

第18号

今年もメダカが、500匹以上育ちました。

《誌上法話⑫》「お供え」

「供養とは、自分の生き方をお供えすること」ことあるごとくそうお話ししています。大切な亡き方やご先祖様は、あなたが善く生きようとする姿をお供えできたら喜んでくださると思うからです。

8月、お盆がやってきます。お盆には多くの方が家族で帰省されます。清元院がある琴浦町以西地区でも、お盆になると人口が2倍になります。帰省は、単にふるさとに帰るだけでなく、命のつながりを確かめる大切なものです。

お釈迦さまは約2500年前に「命が一番大切なもの。あなたもたくさん命に支えられている。」と説かれ、今生きている全ての命と、自分に命をつないでくれた全ての命を大切にすることの大切さを説かれました。同じ命を分け合い、命と命が縁を結んだ家族みんなが、仏壇で、お墓で、お寺で、ご先祖の命に手を合わせ、家族で生きていく姿をお供えするのがお盆です。仲の良い楽しい姿がお供えできればなお良いですね。たとえ家族みんながそろわなくても喜んでくださることは言うまでもありません。

みなさんが仲の良い楽しい姿をお供えできるように、清元院のお盆は楽しい催しを用意しています。

●メダカ・グッピーすくい ●クレープ屋さん出店 ●落語会
などです。(※詳細は4ページ)

●どうしても帰省できない方には「清元院 棚経」の動画(※詳細は3ページ)をYouTubeに掲載しています。動画で私と一緒に手を合わせあなた自身をお供え下さればと思います。

● 仏教は生きている人のためにある

● 以西「仏さまめぐり」⑤

● ホームページ開きました

● YouTube 棚経・声・のんのんさん

● イベント情報・お知らせ等

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五六五年 令和四年八月六日

【新聞に連載が始まりました】

日本海新聞からお声掛けいただき、「潮流」のコーナーに7月から毎月1回1年間（毎月上旬掲載）の執筆が始まりました。普段やっていること、話していること、思っていることを飾らず綴りたいと思います。



井上 英之

私は、26年間教員として勤めた後、父である先代住職が亡くなったのを機に7年前に住職となりました。55歳ですが、分らないことだらけです。新米の目で見て感じ、考えたことをお伝えしようと思えます。まず、住職になって3年目

清元院住職



仏教は生きている人のためである

「仏教・お寺・お坊さんは、懸命にお勤めするのです。生きていく人のためである」ということだ。誰のために何をしているのか、この頃は、お経の内容を説き分ける法要を心掛け、参列者明し、「お経に込められたアドバイスやメッセージを糧として、生きているあなたがこころを提示したりしながら、たからです。

「仏教・お寺・お坊さんは、懸命にお勤めするのです。生きていく人のためである」ということだ。誰のために何をしているのか、この頃は、お経の内容を説き分ける法要を心掛け、参列者明し、「お経に込められたアドバイスやメッセージを糧として、生きているあなたがこころを提示したりしながら、たからです。

「仏教・お寺・お坊さんは、懸命にお勤めするのです。生きていく人のためである」ということだ。誰のために何をしているのか、この頃は、お経の内容を説き分ける法要を心掛け、参列者明し、「お経に込められたアドバイスやメッセージを糧として、生きているあなたがこころを提示したりしながら、たからです。

「仏教・お寺・お坊さんは、懸命にお勤めするのです。生きていく人のためである」ということだ。誰のために何をしているのか、この頃は、お経の内容を説き分ける法要を心掛け、参列者明し、「お経に込められたアドバイスやメッセージを糧として、生きているあなたがこころを提示したりしながら、たからです。

▼以西「仏さまめぐり」⑤【宮木】薬師堂

清元院本堂内に「宮木薬師堂」があります。北側正面に仏さまが安置してある場所をそう呼びます。本堂の中で、お堂もないのにお堂とは何だか変ですよね。

仏像は、釈迦如来、薬師如来、不動明王、毘沙門天の4体です。修理を記録した木札によると、明治20年に彩色、明治40年に彩色修理と記されています。

20年おきに修理されていることから想像すると、さらにその約20年前、今から約160年前の江戸時代の終わりか明治の初めの頃に作成安置された仏像ではないかと思われるかもしれません。もともと今治村（現在の宮木部

落東側）に薬師堂が建っており篤く信仰されてきました。彼岸の中日の前晩は、お堂にこもって念仏を唱える「中日ごもり」が行われました。しかし、いつの頃からかお堂が痛んで、仏像を清元院で預かることになり、現在に到るといふことのようにです。修理の木札には、「人民・牛馬・村中の安全を祈る」と当時の宮木の人々の願いが記されています。今でも、彼岸の中日前夜には宮木のみなさんがお寺に集まり、欠かさず中日ごもりを勤められます。160年前から年2回、通算約320回続くこの行事を大切にしていきたいものです。



右から、不動明王、釈迦如来、毘沙門天、薬師如来



彩色修理 明治40年 宮木部 平安堂 住持 井上英之

◆YouTube 棚経◆



※注) 昨年の参考画像です

供養の気持ちを伝えることができないあなたへ

今年も YouTube に棚経をアップしました。コロナ、お仕事など様々な事情で仏壇やお墓・お寺に手を合わせることができない方、菩提寺の住職が棚経に回られないご家庭の方に、お盆の棚経をお届けします。

お檀家以外の方でも他宗派の方でも、どなたでも一緒に手を合わせ、供養の気持ちをお伝えしましょう。

【視聴者の声】

🔍 清元院 棚経 🔍 検索

・お盆の過ごし方が時代と共に変わってきましたが、お盆にご先祖を敬い迎える大切さは受け継がれていると思います。我が家の菩提寺もコロナで棚経が中止になりましたが、こ YouTube の棚経を我が家のご先祖様に捧げさせていただきました。ありがとうございました。

声こえ

昨日は、急な訪問にも関わらず快くお寺の案内をしていただきありがとうございました。念願のお庭を見ることができて感謝しております。心地よい気持ちで帰路につきました。

お話を聞きした中で、「自分自身が生き生きと過ごせていたならば、それが仏様の供養でもある」と感じました。わずかな迷いを抱えての訪問でしたが、そう確信しました。また伺わせてください。

(倉吉市 K・M)

参加者のみなさんが、住職さんのお話を聞いてお寺のイメージが変わったと感動されていました。また、初めての坐禅体験では、うまく足を組むことができませんでしたが、静かでゆったりと心地よい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

(北栄町六尾 いきいきサロン)

のんのんさま

元気な子どもたちを紹介
かがやく宝ほとけの子



(右) 芽依さん (7歳)

(左) 優希くん (4歳)

琴浦町山川 中本圭介さん、幸江さんのお子さん。

《お父さん・お母さんより》

あつという間の成長の日々の中、2人とも先生やお友達の手助けをしたり、家族に「ご飯を作ってくれてありがとう」「宿題をみてくれてありがとう」と優しい言葉をかけてくれたりします。ケンカをして、よく怒りんぼうになる2人ですが、これからも思いやりのある優しい言葉を忘れないでくださいね。

落語会 怪談噺の会

かいたんばなし



❖ 8月15日 開演17時
 ※小中高校生向け(保護者、地域の方も参加いただけます)

❖ 会場：清元院本堂
 ❖ 料金：投げ銭制 ❖ 申し込み不要
 ❖ 出演：柳家かゑる(六代目小さん門下)

第8回

お地藏様づくり教室

❖ 9月17・18日

※両日とも午後1時半から

※両日とも先着20名

❖ 参加費 2000円(実費)

❖ 講師：倉吉八幡窯の小原先生



※感染症予防に配慮して行います。
 参加希望の方は、事前にご連絡ください。(電話、SNS 清元院HPの問合わせフォームなど)

お盆にクレープ屋さん

がやってくる!

ジラソーレカフェ(Girasole cafe)

さんがキッチンカーで出店

❖ 8月13～15日(10～15時頃)

❖ 各種クレープ&ドリンク

❖ 清元院駐車場

※昨年はお昼まで売り切れ
 ました。
 お早め!



だるまさんの彩色修復

が終わりました!



280年前の江戸中期に清元院3世のもとで出家した「大円古鏡」が寄贈した達磨像の痛みがひどくなくなっていました。この度、大円古鏡の子孫である高力久義さんの発願によって彩色修復がなされました。

お盆に大好評!

メダカすくい
 グッピーすくい

今年もやります!

❖ 8月13～15日

❖ 本堂前

❖ 一人5匹まで

○金魚すくいと同一やり方です。

今年も増えました!

・銀色のメダカ

約500匹

・グッピー

約300匹

【注】

グッピーは熱帯のメダカ(熱帯魚)です。

10月には屋内の水槽に移し、加温が必要です。

◆これからの行事

◇ 8月14日 初盆合同法要

◇ 8月15日 戦没者慰霊祭

◇ 8月15日 落語会(怪談噺の会)

◇ 9月17日 お地藏様作り教室①

18日 お地藏様作り教室②

※両日とも13時半～(先着20名)

◇ 9月23日 彼岸会先祖供養

※午前9・10・11時

※希望者(当日申込)

◇ 10月9日

永代供養合同法要 13時半

永代供養墓見学会 14時半

◇ 12月31日 除夜の鐘

年越しそば

◆月例会

※申込不要

◇ 写経写仏の会

・ 第1日曜 午後3時～

参加費 実費300円

◇ 坐禅会

・ 第3水曜 午後7時30分～

実費300円

◇ お寺ヨガ

・ 第4水曜 午後7時30分～

参加費 1500円



清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

TEL:0858-55-7063 fax:0858-55-7064

メール inotera1@gmail.com

facebook :井上英之 清元院

鳥取 清元院 検索



清元院 HP